北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	質的社会調査論Ｂ（旧IT＆メディアＢ）	科目コード	1608	単位数	2
担当者名	佐藤　千歳	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BLl212	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

商学科や観光産業学科の学修や研究で必要な社会調査の方法の基礎を身につけるために、インタビューやフィールドワークで情報を集めます。
授業では、社会調査の結果を分析し、分かりやすく伝えるための考え方と方法を学びます。

到達目標

１）インタビューやフィールドワークによる基礎的な質的調査計画を立案できる。
２）インタビューやフィールドワークによる質的調査を実施できる。
３）質的調査で集めたデータの分析方法を理解し、実践できる。
４）聞き手の立場に立ったプレゼンテーションを行うことができる。

授業内容

1週目 質的調査とはなにか
2週目 社会調査の目的、基本的な調査方法
3週目 調査（取材）者が留意すべき調査倫理
4週目 調査計画の立案方法。テーマについての調査
5週目 調査計画とテーマについての調査の発表
6週目 社会調査の実践
7週目 調査結果の発表
8週目 調査結果の分析と発表
9週目 ピアレビュー：履修者相互による調査結果の評価
10週目 調査結果のピアレビュー：履修者相互による分析と各自調査の振り返り
11週目 ジャーナリストの視点から考える社会調査
12週目 報告書の再検証
13週目 報告書の改訂
14週目 改訂した報告書のピアレビュー（オンラインで実施します）
15週目 制作した報告書と調査学習の講評、トライアングル調査の概説（オンラインで実施します）
16週目 やむを得ず15週までの内容を実施できな かった場合のみ補講授業（オンラインで実施します）

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業でインタビューやフィールドワークによる調査の実施と調査結果の分析に向けた課題を実施します。授業時間以外に、毎週少なくとも１時間以上の予習が必要です。また調査の実施と調査報告書の作成に、授業時間以外に5時間以上の作業が必要です。

※大学構内でWifiを用いて配布資料に常時アクセスできます。授業終了後すぐに準備学修に取り組むよう心がけてください。

成績評価の方法・基準

調査計画書（10%）、調査記録（20%）、分析結果のレポート（30%）調査報告書（30%）、授業への貢献（10%）により評価します。

履修上の留意点

１）調査計画書と調査記録、調査報告書を期限内に提出した履修者のみ、成績評価の対象とします。
２）教室での講義のほかに、あなた自身が調査を行い、結果を動画にまとめる課題を実施します。家庭でも十分な学習時間を確保してください。
３）病気やケガの療養や就職活動を理由に欠席する場合は、所定の欠席届と、その内容の根拠となる書類を提出してください。
４）授業に関する連絡や課題の提出・返却はmanabaを用いて行います。毎回の授業の前後に確認してください。
５）授業の出席は、授業への参加と課題提出の両方を必要とします。例えば、授業には参加したが課題を提出しなかった場合やその逆は出席になりません。
６）グループワークにノートパソコンまたはタブレットを使用します。持っている人は、学内Wifiに接続できる設定を済ませたうえで持参してください。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや毎回の授業の課題は、履修者間のピアレビューと教員による個別の改善指導を返却時に行います。調査報告書は、教員による個別の改善指導を返却時に行います。
※授業中のフィードバックはWifiを用いて行います。

テキスト

谷富夫ほか編著『よくわかる質的社会調査　プロセス編』（ミネルヴァ書房、2010年出版）　2750円。

参考書

小熊英二『基礎からわかる論文の書き方』（講談社、2022年出版）1320円。

更新日付

2026/10/10 10:46